北海道 2021

Hokkaido Government Iburi General Subprefectural Bureau Iburi Agricultural Extension Center

# 「平成30年北海道胆振東部地震」からの 復興を支えた普及と試験研究の連携

### 概 要 Abstract

9月6日、胆振東部3町(厚真町、 安平町、むかわ町)で甚大な被害

- 普及と研究が連携して、被害 実態に即した技術対策を提案
  - 農業者や農地の状況に合わ せて地域農業の復旧を支援

## 技術対策プロジェクトチーム

道農政部 生産振興局 技術普及課、農業研究本部駐在

- ・胆振総合振興局 産業振興部 農務課
- 胆振農業改良普及センタ-

農業研究本部 技術

連携

中央農業試験場

道総研

関係機関(町、農協など)

農業者に寄り添う

被害状況の把握

技術支援

意向の把握

営農設計支援

## 果 Results





被害実態を把握

#### 普及と研究で技術対策を策定 ・未収穫物の処理方法 ・次年度の施肥対応 など 収穫不能耕地認定 未収穫物の処理方法(抜粋) 全損認定 👃 YES 安全を確保して刈取 → り(危険箇所は避け ほ場に コンバインが 例年同様の ほ場管理を 入れるか? YES ロールベーラやフロ 籾・稲わらを収集して ほ場外に搬出する (堆肥場等で堆肥化) 稲を搬出する ントローダでの収集 ことは可能か? 作業が可能か? NO 冬期間にフロン 籾・稲わらを刈り倒し トローダ等で稲 わらの収集が 刈倒し作業は可能 (ほ場を傷める場合は 翌春に実施する)

普及と農協で綿密な技術指導、営農設計を支援

## H31(R1)~ R2年度

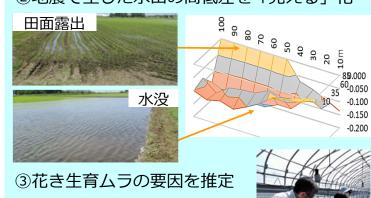
技術対策の活用事例を検証(1) 新たに確認された事例を調査(②、③)

①生育、収量・品質、土壌調査





②地震で生じた水田の高低差を「見える」化



1 • 2 • 3

技術対策活用事例集を作成 改善技術の実践を支援



R元年度の粗生産額→3町とも震災年と同等以上を確保 厚真町では、R2年度から全面積の水田で作付け可能に

# 及 Dissemination

翌春に作業を行う

復興支援活動の経験を今後の備えに活用していく。

## 連絡先 Contact

胆振総合振興局 胆振農業改良普及センター 0142-23-3195 seiiburi-nokai.11@ pref.hokkaido.lg.ip